

# 令和6年度 後志教育研修センター 調査研究事業報告会

学習指導調査研究委員会



令和7年1月10日

於：後志教育研修センター

# 本報告の骨子

---

- 1 研究の概要と推進計画について
- 2 研修講座について
- 3 検証授業について
- 4 指導案バンク、オンデマンドについて
- 5 今年度の成果と課題について
- 6 来年度に向けて

# Ⅰ 研究の概要について

## 研究主題

### 授業力の向上 と 校内研修の在り方

子どもたちが  
生きていく社会

子どもたちに  
求められる力

求められる  
授業像

研究の方向性

## 【仮説1】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための授業改善に向けて、授業づくりの指針を示すことで、管内の授業づくりに寄与することができる。

## 【視点1】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための授業改善

## 【内容】

- ・研修講座(授業づくり・授業改善)
- ・検証授業
- ・指導案バンク

## 【仮説2】

教職員自身が学び続ける姿勢を大切にする研修を行うことに、工夫、改善を共有することで、研修づくりの一助になることができる。

## 【視点2】

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善

## 【内容】

- ・研修講座（校内研修）
- ・検証授業

【研究計画】 1年目〈令和6年度〉 研究の充実に向けた情報収集  
研究主題・主題設定の理由・研究仮説・研究の視点の検討

仮説1 視点1に関わって

- ・ 研修講座による情報発信
- ・ 研修授業において、今後の授業改善に向けた取組
- ・ 指導案バンクの整理・収集作業

仮説2 視点2に関わって

- ・ 研修講座による情報発信
- ・ 研修授業において、今後の授業改善に向けた研修の在り方の検討
- ・ 講座参加者にアンケートの実施、各校の実態把握

2年目〈令和7年度〉 1年目で出た課題についての収集、検討、発信

3年目〈令和8年度〉 3年間の調査をまとめる

## 2 研修講座について

---

(1)「校内研修」

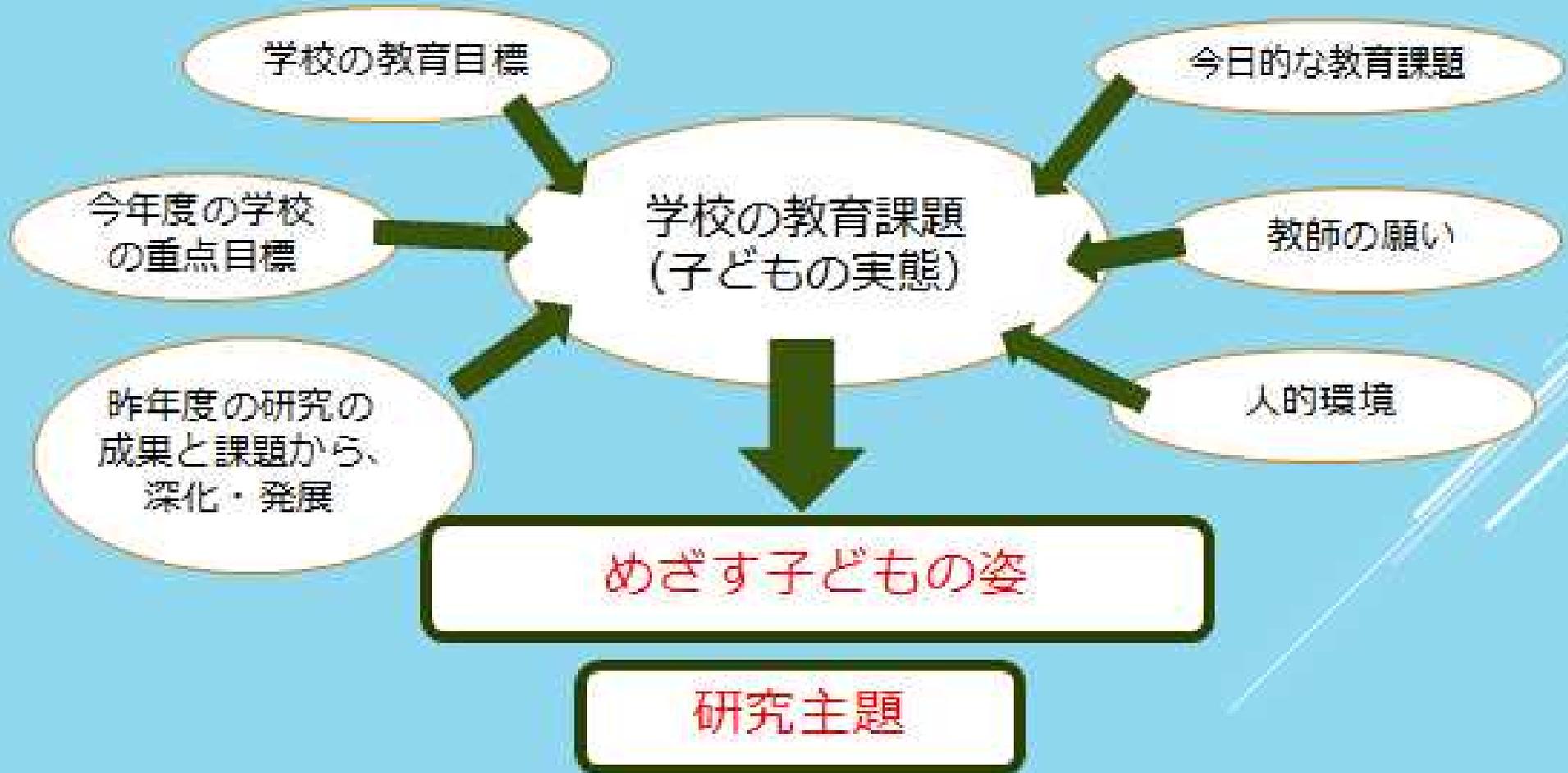
(2)「学習指導（授業づくり）」

(3)「学習指導（授業改善）」

研究主題解決のための研究仮説や研究  
計画の立て方

まとめ方と次年度へのつなげ方

### ④研究主題、副題の設定



## ④研究主題、副題の設定

研究主題・副題を設定する際の3つの要素

### ①目的（子どもの成長）

「～の育成」「～を求めて」等

主語は「教師」

### ②対象（研究の領域・分野）

「～における」「～の研究」等

### ③内容・方法（研究の手立て）

「～を通して」等

## ⑤ 研究仮説の設定

### 具体例

**研究主題** 自分の考えを豊かに表現する子の育成  
～各教科における言語活動の指導の工夫を通して～



### 研究仮説例

「交流の場面において、**場や範囲**

ペアワークやグループワーク、全体交流などを効果的に位置づけることにより

**具体的な手立て**

集団の中で自分の考えや想いを話したり伝えたりすることができるようになるだろう。」

**目指す姿、子ども像**

## ⑥研究推進計画の作成について

### 【1年次】

#### 基盤づくり

- ・新テーマ策定
- ・研究体制の確立
- ・仮説や視点の理解
- ・授業実践
- ・成果と課題の共有
- ・次年度重点の明確化

### 【2年次】

#### 深化・充実

- ・新テーマ確定
- ・研究の重点確認
- ・授業協力者を招き  
授業実践
- ・実践の積み上げ
- ・成果と課題の共有

### 【3年次】

#### 発展

- ・実践発表会開催による外部の評価
- ・研究のまとめ
- ・主題・副題・視点の見直し
- ・年次研究の立案

## ①研究仮説の検証

研究仮説を具体化する。

仮説は正しかったのか



工夫や手立てが効果的だったか  
子どもの成長の役に立ったか

事前・事後調査  
を活用する。

- 【方法】
- ・質問紙（アンケート）法
  - ・観察法（見とり）
  - ・学力検査・テスト など

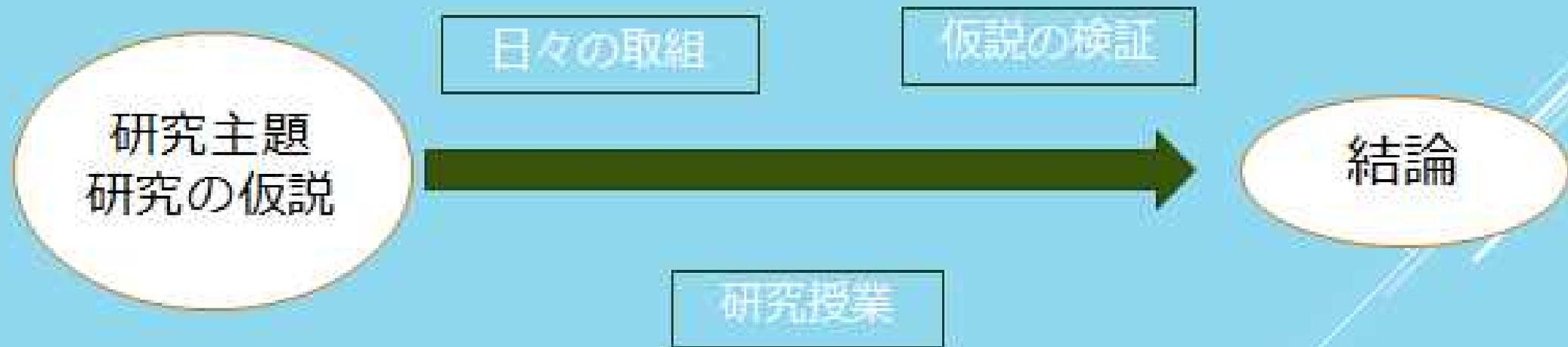
授業を通して、  
データを収集する。

研究仮説の有効性を検証する。

# ① 6月11日 研修講座「校内研修」講義I

## ②まとめ方と次年度へのつなげ方

校内研修の結論は「成果」と「課題」！



## ②まとめ方と次年度へのつなげ方

「課題」が見つかる



「課題」を掘り下げて分析する



改善策を考えて、次年度以降に実践する



よりよい研究へ

(1) 6月11日 研修講座「校内研修」

# 【演習】各校の校内研修の現状と課題の交流

はじめに…

・各グループで、自校の校内研修の概要の紹介

(主題や、推進計画など自己紹介を含めて簡単に)

(1人1分程度)

## 【成果と課題】

### ○成果

- ・1人で研究係を担当している、または初めて研究係を担当した、など不安や悩みを抱えた先生方と一緒に、演習・交流を行えたため、お互いにアドバイスをし合えたり、共感できたりと、「良かった!」「みんな困っていたんだ!」と正直に話し合うことができた。
- ・参加者の先生方に資料を持参してもらったことで、活発な話し合いとなった。
- ・昨年度の反省で上がっていた演習、交流の時間を長く取ることが出来た。

### ●課題

- ・ワークショップ型の校内研修モデルは浸透しつつあるため、主題設定の有無やミニ研修等、より具体的な事例や実践紹介を行っていく。

# (2)6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

『授業づくりに悩んでいませんか？  
一緒に授業をつくりましょう！』



## ①タイムマネジメント

## ②ねらいに基づいた評価規準

## ③教科書

令和2年度 小学校教育課程編成の

新学習指導要領の趣旨を踏まえた  
教育課程の編成・実施

～「主体的・対話的で深い学び」の

令和5年度  
小学校教育課程改善の手引

学習指導要領の  
着実な実施に向けて  
～教育課程の再点検～

### 〔改訂版〕授業づくりの基本「5つの視点」

各学校においては、授業づくりの視点について全教職員で共通理解を図り、共通実践による授業改善に取り込むことが重要です。道内の優れた授業実践をもとに示した授業づくりの基本の「5つの視点」を日常の授業改善に活用してください。

#### 〔視点1〕育成を目指す資質・能力の明確化

- 単元（題材）を捉えて、育成を目指す資質・能力を明確にし、評価規準を設定する。
- 評価規準を踏まえた学習活動を、単元（題材）全体を通してバランスよく位置付ける。
- 児童の学習状況を評価規準に基づいて見取る。

#### 〔視点2〕内容や時間のまとまりを見通した単元（題材）のデザイン

- 主体的に学習に取り組めるよう、自身の学びや定容を自覚できる場面を設定する。
- 対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面を設定する。
- 学びの深まりをつくりだすために児童が考える場面と教師が教える場面を組み立てる。

#### 〔視点3〕「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を支える手立て

- 一人一人の特性・学習進度等に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う。
- 一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う。
- 一人一人のよい点や可能性を生かし、多様な他者と協働する場面を設定する。

#### 〔視点4〕全ての児童が安心して学ぶことができる環境づくり

- 日常的にICTを活用することのできる環境を整備する。
- 学級を互いに学び合う学習集団に育てる。
- 情報を正しく安全に利用できるようにする。

#### 〔視点5〕特別な配慮を必要とする児童への指導内容や指導方法の工夫

- 障がいの種類や程度を十分に理解して指導方法の工夫を行う。
- 個に応じた指導内容や指導方法を計画的に検討し実施する。
- 「特別な支援の必要性」の理解を深め、互いの特徴を認め合い、支え合う関係を築く。

### 〔視点2〕内容や時間のまとまりを見通した単元（題材）のデザイン

1 主体的に学習に取り組めるよう、自身の学びや定容を自覚できる場面を設定する。

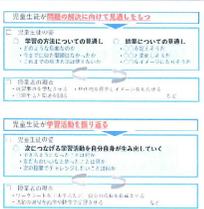
「次の学びにつながる振り返り」

振り返りは、学習活動の意味を考えるなど、身に付いた  
 資質・能力を自覚することに加え、児童自身が気付いた疑問や  
 新たな課題を生み出し、次の学びにつなげるなど、主体的に学習  
 に取り組ませる上で大切な活動です。  
 そのため、単元（題材）全体を通して、児童が学習を自  
 分の問題として捉え、粘り強く取り組み、自己の学習活動を  
 振り返って次につなげる学習活動を児童自らが生み出し  
 ていく場面を位置付けることが重要です。

〔POINT〕

「主体的・対話的で深い学び」とは、学習指導要領に示  
 された内容を、児童が「どのように学ぶか」について、  
 主体的な姿として示したものです。  
 ・児童の具体的な学びの姿を考えながら、単元（題材）  
 のデザインを考えることが大切です。

「主体的な学び」の具体例



2 対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面を設定する。

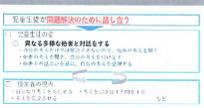
「学びの質を高める『対話』」

対話の場から先は、単元（題材）で育成を目指す資質・  
 能力であることを踏まえ、対話に先立ち、自分なりの考え  
 をもたせるような場面を工夫することが大切です。

〔POINT〕

・授業の目標のもと、意図をもって話し合いを進めるかなど、  
 児童に明確に伝えることが大切です。

「対話的な学び」の具体例



3 学びの深まりをつくりだすために児童が考える場面と教師が教える場面を組み立てる。

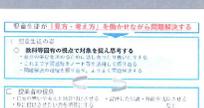
「知識・技能をつなぐ『深い学び』」

習得・活用・探究という学びの過程において、教科等の  
 固有の学びが実現されるよう、児童がどのような視点で物  
 事を捉え、どのような考え方で思考していくのかを踏まえ、  
 単元（題材）をデザインすることが大切です。

〔POINT〕

・実際の指導場面における児童の学習の状況に応じ、指  
 導計画の見直しを図る柔軟な姿勢をもつことが大切です。

「深い学び」の具体例



全体交流の目的

180° より大きい角度の求め方をたくさん理解すること！

全体交流は…考えを広げ、深める時間！

1. 180°より大きい角のしかたを考えることができる。

① 180°より大きい ② 180°より角度大きい角のしかた

白木切刀のしかたに合は六法の法則

分度器をそうやって使えばいいのか！

360° から 210° まで

全体交流を盛り上げ、より深い理解にするため…

『子ども達が悩む発問』を準備！

- ① 「先生はどう仲間分けしましたか？」  
⇒ 本時のまとめにつながる発問
- ② 「分度器と三角定規、どちらの方法がいいですか？」  
⇒ 話し合いを盛り上げ、深い理解につなげる発問

全体交流は『発表会』になってしまうことが多々あります。発表させて先生がまとめるのではなく、児童達が自分の考えを発表した上で、どんな主発問や切り返し発問をするのか考えることが大切です。

振り返り

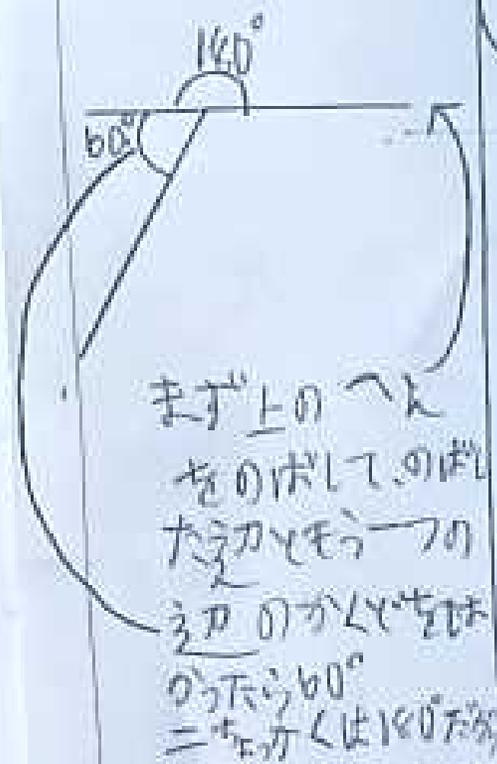


4

右の③の角度は  
何度でしょうか。



答え (言葉、式、図)

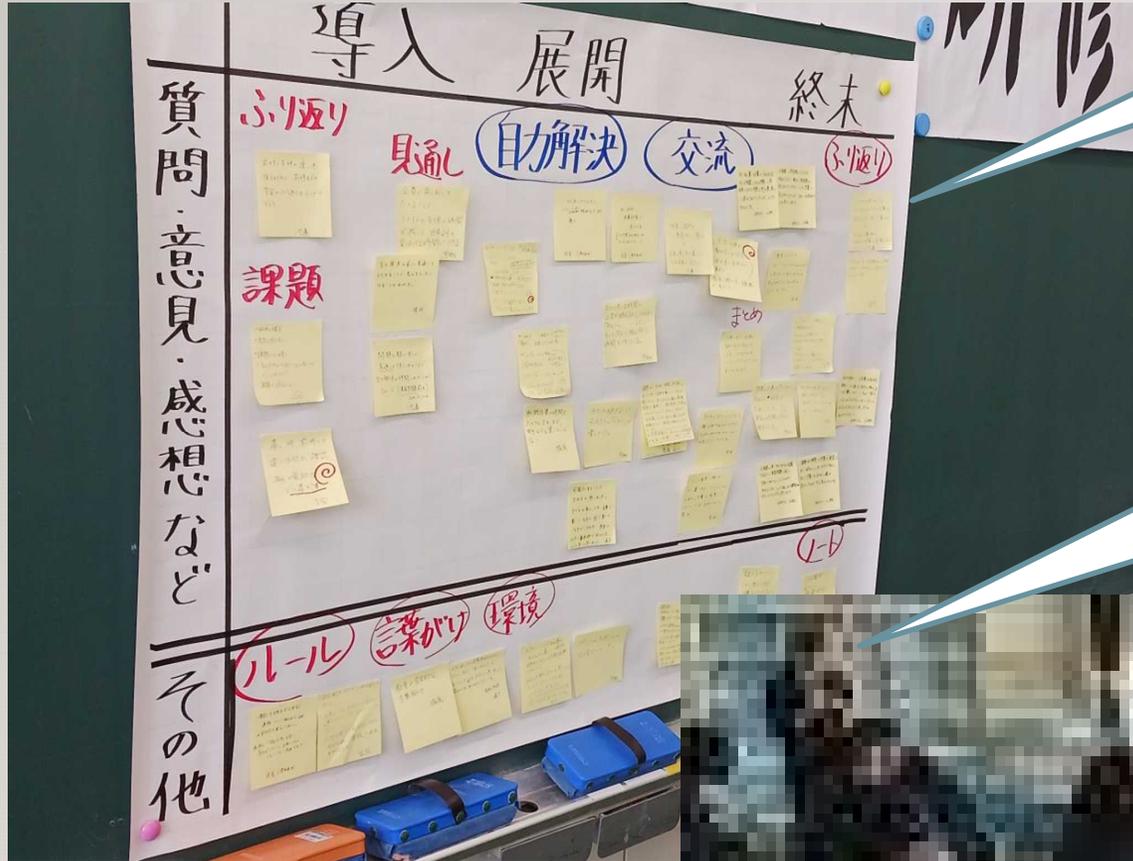


まず③では  
角の角度を  
120°  
円は360°だ  
360°-120°=  
アは240°

まず上のへん  
をのべて、のべし  
たうか、もう一つの  
うか、のうか、をのべ  
のうた、60°  
ニ、のうか、は180°だ

$180^\circ + 60^\circ = 240^\circ$  <sup>5x</sup> 240°

# 事後研の交流



付箋にびっしり！  
一人ひとりの思いが！

進んで、質問！  
日常の授業づくりの悩みから



## (2) 6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

### ①タイムマネジメント 例

- 1 前時をふり返る
- 2 問題をつかむ
- 3 課題
- 4 見通しをもつ
- 5 自分の考えをもつ(自力解決)
- 6 交流(ペア、グループ、全体)
- 7 まとめ
- 8 練習問題でたしかめる
- 9 ふり返る

「思考力・判断力・表現力」の育成をねらいとした例		「知識・技能」の習得をねらいとした例	
導入 7分	学習課題 見通し	導入 7分	学習課題 見通し
展開 30分	個人で思考	展開 25分	個人で習得
	ペア・集団で思考		ペア・集団で習得
終末 8分	個人で思考	終末 15分	まとめ
	まとめ		個人で習熟
	振り返り		振り返り

### (例) 振り返り

がくしゅう ないよう <b>学び 内容</b>	じゅぎょう がくしゅう ○授業で学習したこと じぶん ○自分なりにわかったこと
まな かた <b>学び 万</b>	がくしゅう なか き ○学習の中で気づいたこと ともだち まな ○友達から学んだこと 
これからの <b>ま び</b>	し ○もっと知りたいこと  い ○これから生かしたいこと

# (2) 6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

## ②ねらいに基づいた評価規準 (例) 4年 算数「角」

2 下の③、④、⑤の角度を、それぞれ求めましょう。

③ 式  $45 + 30 = 75$  答え  $75^\circ$

④ 式  $90 - 45 = 45$  答え  $45^\circ$

⑤ 式  $30 + 30 = 60$  答え  $60^\circ$

⑥は、正三角形の1つの角だ。

角も、長さや重さと同じように、たしひいたりすることができます。

4 右の⑧の角度は何度でしょうか。

⑧ 式  $45 + 90 = 135$  答え  $135^\circ$   
 $45 + 30 = 75$  答え  $75^\circ$   
 $45 - 30 = 15$  答え  $15^\circ$

1 ⑨の角度は、直角の何分より大きく、何分より小さいでしょうか。

⑨ 式  $180 + 90 = 270$  答え  $270^\circ$

180より大きくなりそうだけど、どのように考えたらいいのかな。

3 2つの三角定規を組み合わせてできる角の大きさについて考える。

発問 (手を振ろう)

反応・活動

・三角定規の角を組み合わせた角度だ。  
 ① 角度も、長さや重さと同じように、たしひいたりすることができるね。

【挿入】 角度を計算で求めたあと、分度器でも測定して、角度も加減計算できることを確認させる。  
 また、図p.63の「広がる算数」では、三角定規で作れるいろいろな角度を調べる活動を掲載しているので、ここで扱ってもよい。

4 学習を振り返り、まとめる。

【価値づけ】 三角定規の角度を組み合わせて、いろいろな角度がとれたこと、角度にも加法性があることを振り返り、まとめる。

2 「三角定規の角度」のたしかめ

【知技】 直角を単位にした角の大きさの表し方を理解している。また、三角定規の角の大きさを知り、角の大きさの加減計算ができる。

第4時 8 ▶板書編 p.34

目標  
 ・180°より大きい角度の測定のしかたをすることができる。

? 本時の問いの深まり?

●180°より大きくなりそうだけど、どのように考えたらいいのかな。  
 ●どうして、2人とも分度器を下側に合わせているのかな。

準備物  
 [板] 図面p.65、三角定規、分度器  
 [児] 三角定規、分度器

1 問題文を読み、直角の何個分か見当をつける。

発問 (手を振ろう)

「直角の何個分より大きく、何個分より小さいと思いますか」

反応・活動

・2直角の180°よりは大きく、3直角の270°よりは小さいね。  
 ●180°より大きくなりそうだけど、どのように考えたらいいのかな。

【挿入】 ⑨の角度が180°より大きいため、分度器の使い方を工夫する必要があるという見直しをもたせる。

2 「三角定規の角度」のたしかめ

【知技】 直角を単位にした角の大きさの表し方を理解している。また、三角定規の角の大きさを知り、角の大きさの加減計算ができる。

第4時 8 ▶板書編 p.34

目標  
 ・180°より大きい角度の測定のしかたをすることができる。

? 本時の問いの深まり?  
 ●180°より大きくなりそうだけど、どのように考えたらいいのかな。  
 ●どうして、2人とも分度器を下側に合わせているのかな。

何こ分より小さい  
 3こ分より小さい。

りそうだけど  
 らいいのかな。

65

発問

「180°より大きい角度を測るときは、どのように考えるとよかったですか」

反応・活動

! 角度を分けて考えるといいね。

価値づけ

2通りの180°より大きい角度の測り方を振り返り、まとめることで、角の大きさに応じて測りやすいほうを選択できるようにする。

3 「180°より大きい角度のはかり方」のたしかめ

【知技】 分度器を使って、180°より大きい角の大きさを測定することができる。

これができるように!

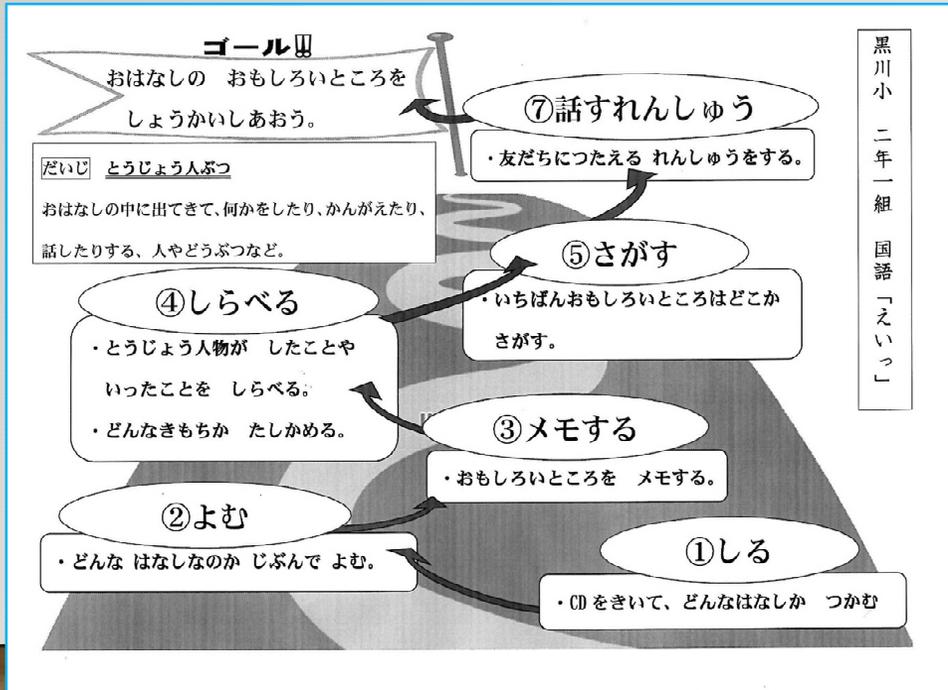
# (2) 6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

三年 モチモチの木

五年 言葉と事実

## ③教科書の構成

### 国語 学習計画



二年 えいっ

**1 たしかめよう**  
(1) この物語の主な登場人物をたしかめましょう。その中で、心人物はだれでしょうか。  
(2) 豆太を「おくびよう」だと言っているのはだれでしょうか。また、じさまは、豆太をどのような子だと思っっているのでしょうか。友達と話しましょう。

**2 考えよう**  
豆太の気持ちほどのようにかわっていったのか、場面のうわかに合わせて、ノートに整理しましょう。  
また、その場面の豆太について思ったことや考えたことをまとめ、話し合しましょう。

場面	豆太の会話や行動	豆太の気持ち	自分が思ったこと、考えたこと
1 真夜中にトイレ	・表にあるせつちん ・一人で歩く	・豆太は五さい。 ちよっとこわがりて、あまえんぼうだな	
2 「じさまあ」	・は、語り手だよ。語り手と登場人物のように、立場がちがうと、ちがうことを言う場合があるよ。		

**3 深めよう**  
物語のはじめと終わりで、豆太はかわったと思いますか。どのように考えた理由はどうしてでしょう。自分の考えとその理由を話し合しましょう。

**4 広げよう**  
この物語のおもしろいところをノートに書いて、しょうかいしましょう。書くときは、次のことに気をつけましょう。  
・おもしろいと思った場面や言葉をもとに書く。  
・心にのこった人物の行動や言葉をもとに書く。

**言葉と事実 学習計画**

事例と解説をもとに、言葉と事実との関係を考えよう

**一、筆者の言いたいことを探そう**  
(1) 「事実」とは、どんなこと?  
(2) 「段落」とも、そうではなさそうです。「その後、筆者はなんて言いたい?」

**二、三つの事例を比べて**  
三つの事例を通して、どのようなことに気を配る必要がある?

**事例と解説**  
「言葉と事実」は、事例をもとに解説した文章です。「事例」とは、筆者が取り上げた具体例。「解説」とは、その事例をもとに、筆者が伝えたことを、わかりやすく説明したものです。  
このような文章では、次の点に注意して読むことが大切です。  
●筆者が説明していることは、どのようなことが起き、どのような結果になったか。  
●筆者が解説していることは、事例のどの部分をもとになっているのか。  
事例と解説の関係を考えることで、筆者の考えをなっとくしたり、疑問点を見つけたりすることが出来ます。

**三、経験した「こと」の事例について、考えたいことを書こう**  
**四、友達と交流しよう**  
(1) 友達はどんな例をもとに考えている?  
(2) 事実の表し方について、どう考えている?

◎ふり返り  
①三つの事例を通して、どのようなことに気を配る必要がある?  
②言葉と事実について説明したり、言葉から事実を想像したりできた?

# (2) 6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

## 算数 教科書の基本姿勢

## 「“問い”の連続でつくる数学的活動」

はてな → なるほど → だったら

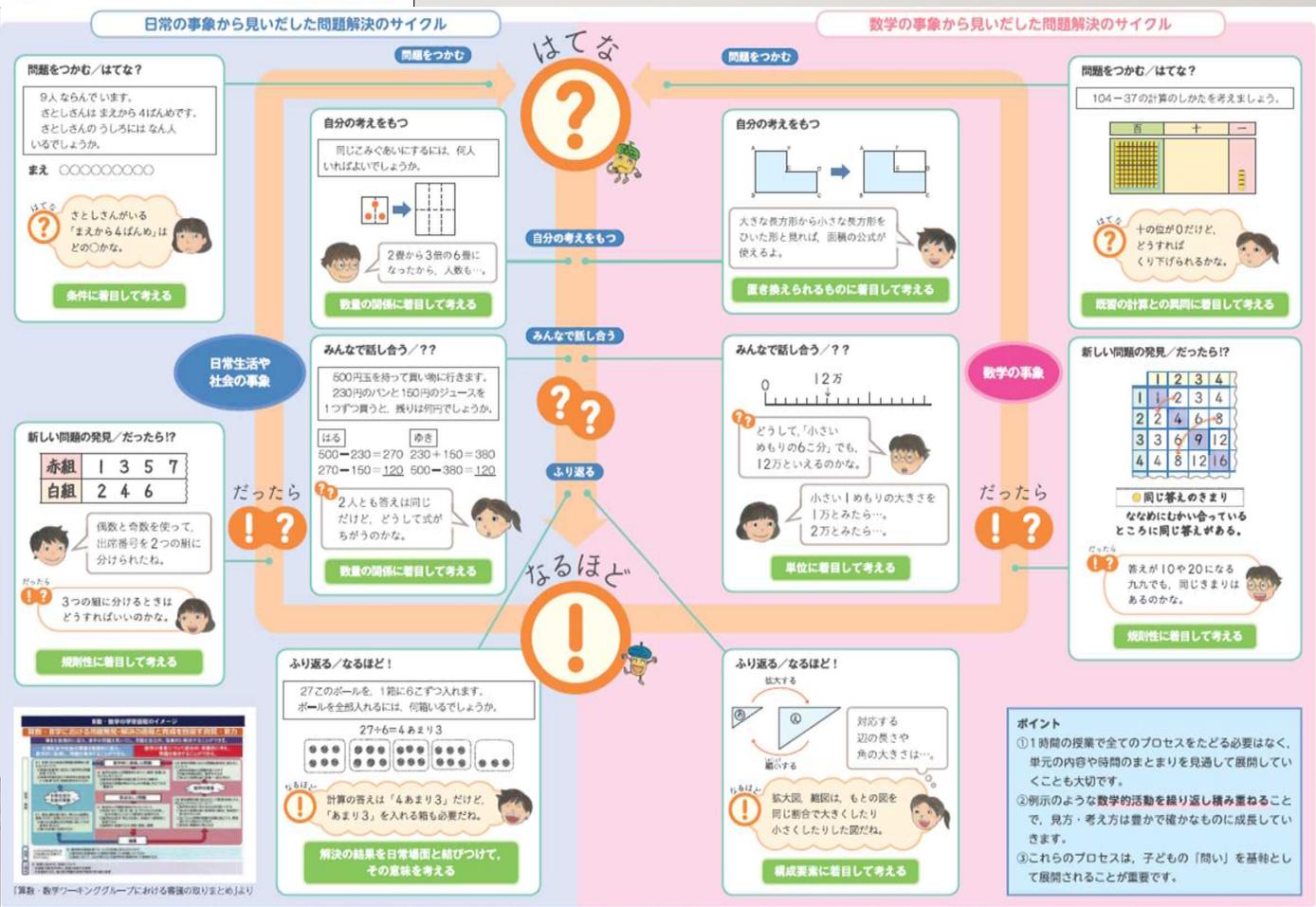
**問題をつかむ**

・新しく考えることは何かな。

**はてな**

- ・どうしてかな。
- ・本当かな。
- ・どうすればいいかな。

**はる**



「算数・数学ワーキンググループにおける協議の取りまとめ」より

# (2) 6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

## ここが大事

目次

1	はじめに
2	算数のミカタ／学びのマップ
3	算数のミカタ／学びのマップ
4	算数のミカタ／学びのマップ
5	算数のミカタ／学びのマップ
6	算数のミカタ／学びのマップ
7	算数のミカタ／学びのマップ
8	算数のミカタ／学びのマップ
9	算数のミカタ／学びのマップ
10	算数のミカタ／学びのマップ
11	算数のミカタ／学びのマップ
12	算数のミカタ／学びのマップ
13	算数のミカタ／学びのマップ
14	算数のミカタ／学びのマップ
15	算数のミカタ／学びのマップ
16	算数のミカタ／学びのマップ
17	算数のミカタ／学びのマップ
18	算数のミカタ／学びのマップ
19	算数のミカタ／学びのマップ
20	算数のミカタ／学びのマップ
21	算数のミカタ／学びのマップ
22	算数のミカタ／学びのマップ
23	算数のミカタ／学びのマップ
24	算数のミカタ／学びのマップ
25	算数のミカタ／学びのマップ
26	算数のミカタ／学びのマップ
27	算数のミカタ／学びのマップ
28	算数のミカタ／学びのマップ
29	算数のミカタ／学びのマップ
30	算数のミカタ／学びのマップ
31	算数のミカタ／学びのマップ
32	算数のミカタ／学びのマップ
33	算数のミカタ／学びのマップ
34	算数のミカタ／学びのマップ
35	算数のミカタ／学びのマップ
36	算数のミカタ／学びのマップ
37	算数のミカタ／学びのマップ
38	算数のミカタ／学びのマップ
39	算数のミカタ／学びのマップ
40	算数のミカタ／学びのマップ
41	算数のミカタ／学びのマップ
42	算数のミカタ／学びのマップ
43	算数のミカタ／学びのマップ
44	算数のミカタ／学びのマップ
45	算数のミカタ／学びのマップ



## 交流 (ペア、少人数)

- ① 短時間に話す機会の確保
- ② 安心、自信
- ③ 練習
- ④ 教師側の支援、見取り
- ⑤ アドバイス、ヒント、知る
- ⑥ 思考の広がり

話したくなる授業作り  
話せる環境作り  
意図をもって

何のためにペア交流しているのか  
どんなよさがあるのか  
子どもにも意識させること

話す、聞く時間  
反応の仕方

## 算数のミカタ／学びのマップ

新たなミカタを獲得し、別の場面に活用する

平行四辺形の面積を求めるときは、面積の求め方がわかる形に変えるという見方を使いました。

新たな見方を獲得!

図形をどうみると、これまでに学習した考え方が使えるか、考えることが大切だね。

面積が2倍の長方形を2つ作って、その半分にする。式  $4 \times 6 \div 2$

繰り返し使おう!

5年p.205 四角形や三角形の面積

学びのマップ 2年生までに使ってきた算数のミカタ

2年生までの学習とのつながりを調べて、学習をふり返ったり進めたりしよう。

新しい計算のしかたを考えたときの見方

70+50 700+500

10のまとまりで考えて…  
 $70+50 \rightarrow 10$ が(7+5) = 100のまとまりで考えて…  
 $700+500 \rightarrow 100$ が(7+5) = 1000のまとまりで考えて…

24+15

数に分けて…  
 $24 + 15 \rightarrow 20+10$   
 $(20)(4)(10)(5) \rightarrow 4+5$

形のとくちょうを調べるときの見方

頂点、辺、かどの形に目をつけて…

ものがたりを学ぶときの見方

もとの大きさを決めて…

そのいくつ分で表す。  
1cm 3こ分で3cm

学びのマップ 3年生までに使ってきた算数のミカタ

3年生までの学習とのつながりを調べて、学習をふり返ったり進めたりしよう。

新しい計算のしかたを考えたときの見方

318+225

数に分けて…  
 $318 + 225 \rightarrow 300+200$   
 $20 \times 3 \rightarrow 10$ が(2×3) = 60

20×3

10のまとまりで考えて…  
 $20 \times 3 \rightarrow 10$ が(2×3) = 60

形のとくちょうを調べるときの見方

頂点、辺、かどの形に目をつけて…

ものがたりを学ぶときの見方

もとの大きさを決めて…

そのいくつ分で表す。  
1cm 3こ分で3cm

- ☆低学年 → 自分なりに表現
  - …たくさんの児童が話せる、聞ける経験
- ☆中学年 → 分かりやすく説明できる
  - …高め合える練習、価値づける、伸ばしていく
- ☆高学年 → 的確に説明できる
  - …自分達で作り上げる授業

# (2) 6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)

授業略案( 年 月 日)

授業者( )

本時の目標

--

--	--	--

B評価 ( \_\_\_\_ がA評価 ) :

	導入	展開	終末
主体的な学び			
対話的な学び			
深い学び			

## (2) 6月5日 研修講座「学習指導」(授業づくり)



## 1 3の授業改善の視点

2 「主体的・対話的で深い学び」からみる授業改善の視点

### 主体的な学びに関する授業改善の視点

- 1 学ぶことに興味関心を持つ
- 2 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける
- 3 見通しを持つ
- 4 粘り強く取り組む
- 5 自己の学習活動を振り返り次につなげる

22

2 「主体的・対話的で深い学び」からみる授業改善の視点

### 対話的な学びに関する授業改善の視点

- 6 子供同士の協働を手掛りに考える
- 6A ペアや班で考える
- 6B 学級全体で考える
- 7 教職員や地域の人との対話を手掛りに考える
- 8 先哲の考え方を手掛りに考える
- 9 多様な表現方法を用いて対話する

23

2 「主体的・対話的で深い学び」からみる授業改善の視点

### 深い学びに関する授業改善の視点

- 10 知識を相互に関連付けてより深く理解する
- 11 情報を精査して考えを形成する
- 12 問題を見いだして解決策を考える
- 13 思いや考えを基に創造する

24

チェックリストにして、  
普段の自身の学習指導の振り返りを！

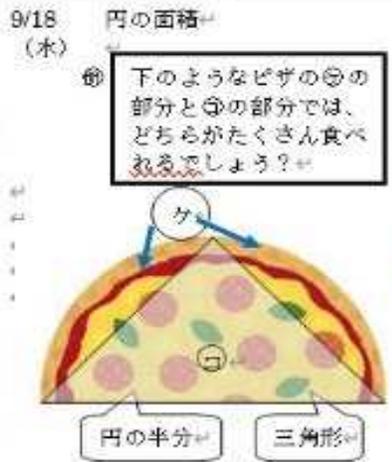
⇒授業実践の前に行い、  
参観する際の焦点化へ

# (3) 9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

9/18(水) 第8学年 教科:算数  
 単元名:円の面積(8/10)

**本時の目標** 円その他の図形を組み合わせた図形の求め方を  
 筋道を立てて説明することができる。

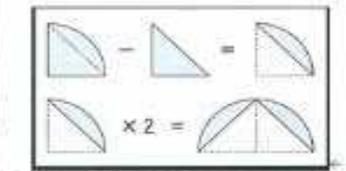
- ① 問題・見通し  
※既習との違いを確認
- ② 課題把握  
※終末の活動の確認
- ③ 学習活動の見通し  
確認
- ④ 自力追究・小交流  
※ノート・タブレット  
※一人で・グループで  
※聞く・教える  
※選択させる



④ 円やその他の図形を組み合わせた図形の面積の求め方は?

$$10 \times 10 \times 3.14 \times 1/2 - 20 \times 10 \div 2 = 157 - 100 = 57$$

⑤ 円のどれくらいか考えたり習った図形をひいたりして面積を求める。



$$10 \times 10 \times 3.14 \times 1/4 - 10 \times 10 \div 2 = 28.5$$

$$28.5 \times 2 = 57$$

どちらもひく

⑤全体交流 まとめ  
※面積の求め方の  
ポイントを確認  
④  
・自分たちの言葉  
でまとめる。

⑥ 練習問題

⑦ 振り返り

主体性向上の為のポイント ①子ども達の言葉や自分に合った方法で表現できるようにします。 ②見通しが持てるように字が方やまとめ方の選択肢を示します。 ③一人一人の学習状況を把握しながらファシリテーションに徹します。

授業改善のポイント(主体的・対話的・深い学び)【個別最適・協働】

主体的	対話的	深い学び
1. 学ぶことへの興味関心 ①児童の流行に沿った終末の活動の確認 ②終末の活動との関連を確認 2. 自己のキャリア形成との関連付け ①観点を示し、ふりかえりをさせる 3. 見通しを持つ ①既習との違いを考えさせる ②学び方の選択をさせる【個】 4. 粘り強く取り組む ①分からない時にどうするか助言する ②困っている子に友達の手助けを見る【協】 5. 振り返りを次につなげる ①終末への活動につなげる	6. 友達との協働を手掛かりに考える ①ペアやグループで考えさせる【協】 ②ICTを活用し他者の考えを参考にさせる【協】 7. 先生との対話を手掛かりに考える ①調べ方、解決の仕方を助言する ②疑問をいくつか用意する 8. 先哲の考えから考えさせる ①これまで習った図形の面積の求め方を確かめさせる。	10. 全体交流 ①既習との違い・相違点を語らせる ②異様に児童の考えを書く 11. 論議を精査して考えを形成する ①話し合いの集点を破る ②共通点や相違点から考えさせる 12. 問題を見出して解決策を考える ①必要に応じて子ども同士で小交流をさせる【個・協】

本時の評価	思考・判断・表現	主体的学習に結びつける
A評価	円の一部とみられる図形とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を図や式などを用いて筋道を立てて相手に伝わるように説明したり表現したりしている。	既習の図形の面積の求め方などをもとに最後まで粘り強く考えて相手に説明しようしたり、よりよい求め方を見出そうと見たり聞いたりしようとしている。
B評価	円の一部とみられる図形とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を図や式などを用いて考えたり表現したりしている。	既習の図形の面積の求め方などをもとに最後まで粘り強く考えたり、よりよい求め方を見出そうとしたりしている。

今回の授業実践においても、  
 板書型指導案に  
 授業改善の視点を  
 組み込み  
 具体的な場面に  
 チェックリストに

# (3) 9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

学習過程へ  
授業改善の視点と  
具体的な活動を  
配置すると...

	課題把握	課題追及	課題解決	振り返り
主体的	1 学ぶことに興味関心をもつ ・児童の流行に沿った終末の活動の確認 ・終末の活動との関連を確認	4 粘り強く取り組む ・分からない時にどうするか助言する ・困っている子に友達の考えを見せる	2 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける ・観点を示し、ふりかえりをさせる	
	3 見通しをもつ ・既習との違いを考えさせる ・学び方の選択をさせる	6 子供同士の協働を手掛かりに考える ・ペアやグループで考えさせる ・ICTを活用し他者の考えを参考にさせる	5 自己の学習活動を振り返り次につなげる ・終末への活動につなげる	
対話的		7 教職員や地域の人との対話を手掛かりに考える ・調べ方、解決の仕方を助言する ・発問をいくつか用意する		
		8 先哲の考えを手掛かりに考える ・これまで習った図形の面積の求め方を確かめさせる		
		9 多様な表現を用いて対話する ・他者と比較させる ・自分の言葉でまとめさせる		
		10 知識を相互に関連付けてより深く理解する ・既習との違い・相違点を話させる ・黒板に児童の考えを書く	11 情報を精査して考えを形成する ・話し合いの焦点を絞る ・共通点や相違点から考えさせる	
		12 問題を見出して解決策を考える ・必要に応じて子ども同士で小交流させる	13 思いや考えを基に、創造する ・教師が答えを言わない ・違っていることをすぐに指摘しない	

授業改善のポイント (主体的・対話的・深い学び) 【個別最適・協働】

主体的	対話的	深い学び
1. 学ぶことへの興味関心 ①児童の流行に沿った終末の活動の確認 ②終末の活動との関連を確認	6. 友達との協働を手掛かりに考える ①ペアやグループで考えさせる【協】 ②ICTを活用し他者の考えを参考にさせる【協】	10. 全体交流 ①既習との違い・相違点を話させる ②黒板に児童の考えを書く
2. 自己のキャリア形成との関連付け ①観点を示し、ふりかえりをさせる	7. 先生との対話を手掛かりに考える ①調べ方、解決の仕方を助言する ②発問をいくつか用意する	11. 情報を精査して考えを形成する ①話し合いの焦点を絞る ②共通点や相違点から考えさせる
3. 見通しを持つ ①既習との違いを考えさせる ②学び方の選択をさせる【協】	8. 先哲の考えから考えさせる ①これまで習った図形の面積の求め方を確かめさせる	12. 問題を見出して解決策を考える ①必要に応じて子ども同士で小交流させる【協・協】
4. 粘り強く取り組む ①分からない時にどうするか助言する ②困っている子に友達の考えを見せる【協】	9. 多様な表現方法を用いる ①他者と比較させる【協・協】 ②自分の言葉でまとめさせる【協】	
5. 振り返りを次につなげる ①終末への活動につなげる		

☐ 教師が答えを言わない  
☐ 違っていることをすぐに指摘しない

# (3) 9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

## 授業実践 (泊小学校5・6年)



# (3) 9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

## 授業実践 (泊小学校5・6年)

☆ここが大事 『やま場』を考えると  
 ↓やま場とは...中心人物が大きく変わるところ  
 ☆中心人物がいつ大きく変わったか読むとやま場をとらえられる。

8 ↑	7 ↑	6 ↑	↑	5 ↑	4 ↑	3 ↑	2 ↑	1 ↑	時間 ↑	問題 ↑	これが できる ↑
作品レビュー交流会を開こう。	心に残った場面を200字以内で紹介しましょう。	物語の中で心に残った場面を選 び、選んだ理由や自分の考えを工 夫してまとめている。	物語のやま場をもとに作品レビュー作り	大造じいさんの心情が大きく変化したのはどこで しょう。	大造じいさんの残雪に対する見方が変わった場面 はどこでしょう。	大造じいさんはがんを捕まえるために、どんな作 戦を立て、どんなことを思っていたでしょう。	大造じいさんが立てた作戦 と、その時の心情を表に整理 している。	単元計画を立てよう。	物語の大体をつかみ、単元の見 通しを持つことができる。	これが できる ↑	

これができようになる！↑  
 ◎情景描写に触れながら心情を表す言葉を増やしながら物語を読むことができる。  
 ◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。  
 ◎すすんで残雪に対する大造じいさんの心情の変化を読み、学習の見直しをもつて「やま場」の場面を見つけたら、大造じいさんの行動について考えたことを文章にまとめたりできる。

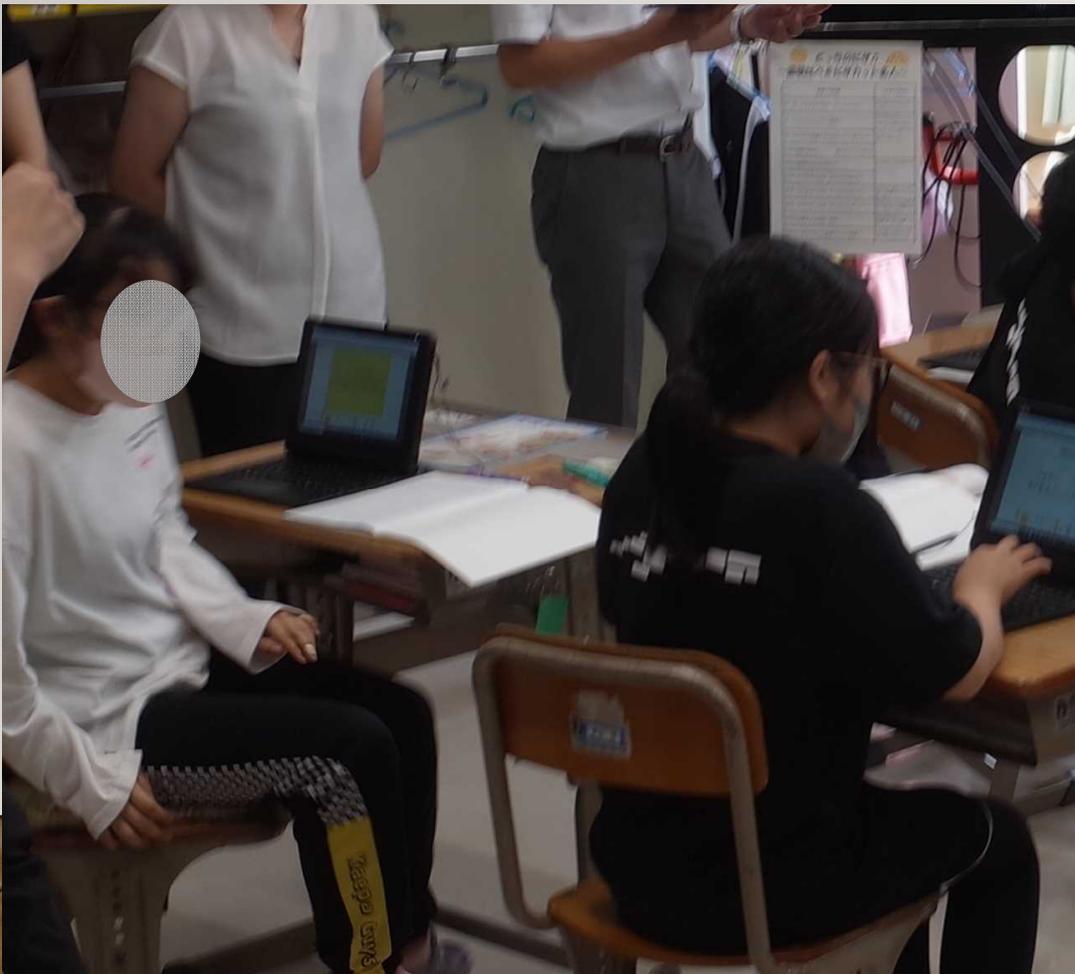
『大造じいさんとがん』のやま場は？↑  
 心情の変化をもとに作品レビュー

どっちのピザ♪  
 ~面積比べ&ピザカット名人~

学習する内容	これができる!!
① ア・イで大きいのは どっちのピザ？	円の面積の求め方を粘り強く 考えようとしている。
② イのピザのおよその面積は。	円の面積の求め方について、 今まで習った図形の面積の求 め方などをもとに図や式など を用いて考えている。
③ イのピザの面積を多角形をもとに考えよう。	を用いて考えている。
④ 円の面積を求める 形をもとにして考える。	
⑤ 円の面積を求める公式は？	公式を用いて円の面積を求め ることができる。
⑥ ウ・エで大きいのは どっちのピザ??	
⑦ オ・カで大きいのは どっちのピザ??	円を分けた場合でも公式を使 って面積を求めることができ る。
⑧ キ・クで大きいのは どっちのピザ??	円の一部とみられる図形で も公式を使って面積を求め ることができる。
⑨ 円の面積まとめ問題に挑戦!	円の面積の求め方を使った 問題に粘り強く挑戦できる。
⑩ テスト&ピザカット面積ゲームに挑戦!	「円の面積」の学習のよさや見 方・考え方を振り返っている。

# (3) 9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

## 授業実践 (泊小学校5・6年)



<文字を入力してください>

口笛をふこうとした

猟銃をぎゅっとにぎりしめた

飼いならしたがんを例のえ場に放ち、昨年建てた小屋の中にもぐりこんだ。

二年前、生けどったがんをおとりに使おうとした。

3場面

残雪をねらったが、ふたたび銃をおろしてしまった。

ぬま地に落ちたはやぶさと、残雪のところにかけた。

残雪をねらったが、ふたたび銃をおろしてしまった。

ぬま地に落ちたはやぶさと、残雪のところにかけた。

バーを大きく  
SKYMENU



## 授業実践 (泊小学校5・6年)

9/18(水) 第5学年 教科:国語  
単元名:大造じいさんとがん(5/9)

**本時の目標** 自分が思う物語のやま場を考え、  
そう思った理由をまとめることができる。

① 全体交流  
・全員に共通していることとは？  
⇒今までの残雪との違いは？  
② まとめ  
・自分の言葉でまとめる。

① 問題・見通し  
※既習との違いを確認  
② 課題把握  
③ 学習活動の見通し

物語の山場は？  
大造じいさんの心情が上  
理由  
残雪の敵  
死の覚悟

9/18(水) 第6学年 教科:算数  
単元名:円の面積(8/10)

**本時の目標** 円とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を、  
筋道を立てて説明することができる。

① 問題・見通し  
※既習との違いを確認  
② 課題把握  
③ 学習活動の見通し

9/18 円の面積  
下の様な②の部分と③の部分では、  
どちらがたくさん食べられるでしょう？  
円やその他の図形を組み合わせた図形の面積の求め方は？  
円のどれくらいか考えたり習った図形をひいたりして面積を求めよう。

① 全体交流  
・まとめ  
※面積の求め方のポイントを確認  
・自分たちの言葉でまとめる。

主体性向上の為のポイント ①子ども達の言葉や自分に合った方法で表現できるようにします。 ②見通しが持てるように学び方やまとめ方の選択肢を示します。 ③一人一人の学習状況を把握しながらファシリテーションに徹します。

主体性向上の為のポイント	①子ども達の言葉や自分に合った方法で表現できるようにします。	②見通しが持てるように学び方やまとめ方の選択肢を示します。	③一人一人の学習状況を把握しながらファシリテーションに徹します。
本時の評価	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
A評価	教科書の語句や挿絵を用い、大造じいさんの心情の変化や物語の全体像を想像しながら物語のやま場と相違点に着目しながら物語のやま場を考えている。	残雪に対する大造じいさんの心情の変化を基に物語のやま場の場面を見つけようとしている。	
B評価	教科書の語句や挿絵を適切に用いながら、残雪に対する大造じいさんの心情の変化を基に物語のやま場の場面を見つけようとしている。	残雪に対する大造じいさんの心情の変化を基に物語のやま場の場面を見つけようとしている。	

単元(学習活動・最後の時間)で目指す子ども像	○円の面積の公式を理解し正確に求めることができる。 ○円の面積の求め方を基に様々な図形を粘り強く考えることができる。	
本時の評価	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A評価	円の一部とみられる図形とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を図や式などを用いて筋道を立てて相手に伝わるように説明したり表現したりしている。	既習の図形の面積の求め方などをもとに最後まで粘り強く考えて相手に説明しようとしたり、よりよい求め方を見出そうと見たり聞いたりしようとしている。
B評価	円の一部とみられる図形とその他の図形を組み合わせた図形の求め方を図や式などを用いて考えたり表現したりしている。	既習の図形の面積の求め方などをもとに最後まで粘り強く考えたり、よりよい求め方を見出そうとしたりしている。

自分にとっての学び	①見通しが持てるように学び方やまとめ方の選択肢を示します。	③一人一人の学習状況を把握しながらファシリテーションに徹します。	
授業改善のポイント(主体的・対話的・深い学び)【個別最適・協働】	主体的 1. 学ぶことへの興味関心 ①児童の流行に沿った終末の活動の確認 ②終末の活動との関連付け ③観点を示し、ふりかえりをさせる 3. 見通しを持つ ④学び方の選択をさせる【個】 ⑤学び方の型を示す 4. 粘り強く取り組む ⑥分らない時にどうするか助言する ⑦困っている子に友達のを教える【協】 ⑧振り返りを次につなげる ⑨終末への活動につなげる	対話的 6. 友達との協働を手掛かりに考える ④ペアやグループで考えさせる【協】 ⑤異様に得意な考えを書く 7. 先生との対話を手掛かりに考える ⑥調べ方、解決の仕方を助言する ⑦疑問をいくつか用意する 8. 先習の考えから考えさせる ④これまで習った図形の面積の求め方を確かめさせる 9. 多様な表現方法を用いる ④他者と比較させる【個・協】 ⑤自分の言葉でまとめさせる【個】	深い学び 10. 全体交流 ③既習との違い・相違点を語る ④異様に得意な考えを書く 11. 情報を精査して考えを形成する ⑤話し合いの焦点を絞る ⑥共通点や相違点から考えさせる 12. 問題を見出して解決案を考える ④必要に応じて子ども同士で小交流させる【個・協】 □ 教師が答えを言わない □ 違っていることをすぐに指摘しない

## 協議・交流

### ○授業の流れ

- 児童が1時間の見通しをもって自分たちで授業を進めている
- 教師はファシリテーションに徹し、指示が少ない
- 自然と交流が始まり、個別から協働への流れができています

### ○ICTの活用

- タブレットで考えを表現することによって他者参照が可能に
- 全体での発表がないため、思考を深める時間が確保できる
- タブレットの他にノートやプリントなど、使いやすいものを選択できる

## 受講者からの声…自身の課題解決に向けた内容

### ○13の授業改善の視点

- ・ 授業づくりの際に立ち返る
- ・ 自身の授業を振り返るときに有効

### ○ICTについて

- ・ 交流の際に効果的
- ・ 児童の学びの蓄積として活用

### ○導入について

- ・ いかにも子どもたちを引き付けるか
- ・ 子どもたちの意欲につながる身近な題材
- ・ 既習事項との違いを明確に

### ○指導事項について

- ・ 学習すべき内容の習得はできたのか
- ・ 児童の思考を広げる・深めるための手立て

## (3) 9月18日 研修講座「学習指導」(授業改善)

### <成果>

- ・受講者に事前アンケートをとったことで、授業づくりの困り感を明確にした上で受講に臨むことができていた。また、グループ協議の際のグループ分けにも役立てることができた。

- ・日々の授業づくりでの悩みなどをたくさん話すことができ、様々なヒントを得るきっかけとなった。

---

- ・授業改善13の視点に沿った授業づくりによって、授業改善のポイントをわかりやすく示すことができた。

### <課題>

- ・初任者層の先生が比較的多かった。10年～20年目の先生にも来ていただけると、より一層話し合いが深まる。

## 4 検証授業について

---

1 1月28日（木）実施  
蘭越町立蘭越小学校  
1年生 長坂 真奈美教諭 算数科



### 3 検証授業について

---

研究主題

授業力の向上と校内研修の在り方  
～子ども主体の授業づくりを通して～

## 3 検証授業について

---

### 視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体充的な実を図るための授業改善

### 視点2

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善

## 視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を図るための授業改善



### 個別最適な学び

学習の個性化（道具の取捨選択）



### 協働的な学び

思考の整理・深まり

## 視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体化の充実を図るための授業改善



### 協働的な学び

教師の問い返しによる広がりや深まり



### 協働的な学び

構造的な板書による思考の整理

## 視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体化の充実を図るための授業改善

個別最適な学び

協働的な学び

『個別最適な学びと協働的な学び』の授業スタイルの共有

発達段階や児童の実態に合った授業スタイル

## 視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体化の充実を図るための授業改善

『自由進度学習』をすればいいのかな…

『問題解決型』の授業スタイルで…

『まとめ』にたどり着くまでは個別に…

『個別最適な学びと協働的な学び』のイメージがそろっていない…

## 視点1

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体化の充実を図るための授業改善

個別最適な学び

協働的な学び

本時の指導事項を  
押さえること

毎時間の評価規準を  
明確にした単元計画

児童生徒一人一人を  
正確に見取るための授業デザイン

## 視点2

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善



**発達段階や児童の実態に合った授業スタイル**

## 視点2

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善

研修の内容

指導案の形式

事後検証の  
進め方

指導案検討の  
進め方

授業の交流の  
仕方

『校内研修観』 そのものが違う？

## 視点2

教職員自身が主体的になるための研修の工夫と改善

小学校10校

中学校7校

7校が『研修の進め方』に悩む



他校ではどのような  
研修をしているのか。



いろいろな研修の進  
め方を知りたい！

## 4 指導案バンクについて

---

明日の授業づくりの  
ヒントとなるように!

指導案

板書案

単元計画

クラウドフォルダ

検索



+ 新規

↑ アップロード

共有

リンクをコピー

同期

...

並べ替え

≡



## 後志指導案バンク

アイテムの選択範囲の切り替え

<input type="radio"/>	↑	名前	更新日時	更新者	ファイルサイズ	共有
<input type="radio"/>		小学校指導案	5月2日	後志教育研修センター	7個のアイテム	共有
<input type="radio"/>		中学校指導案	5月2日	後志教育研修センター	9個のアイテム	共有
<input type="radio"/>		特別支援	8月4日	後志教育研修センター	4個のアイテム	共有

↑	名前 ↓	更新日時 ↓	更新者 ↓
	国語	6月12日	後志教育研修センター
	算数	6月12日	後志教育研修センター
	道徳	6月12日	後志教育研修センター
	理科	6月12日	後志教育研修センター
	社会	6月12日	後志教育研修センター
	家庭	8月26日	後志教育研修センター
	保健	8月26日	後志教育研修センター

自分のファイル > 後志指導案バンク > 小学校指導案 > **国語** 



名前 ▾

更新日時 ▾



1年

6月12日



2年

6月12日



3年

6月12日



4年

6月12日



5年

6月12日



6年

6月12日

↑	名前 ↓		更新日時 ↓	更新者 ↓
<input checked="" type="checkbox"/>	 詩を味わおう	 	8月4日	後志教育研修センター
	 天気を予想する		8月4日	後志教育研修センター
	 雪渡り		8月4日	後志教育研修センター
	 白神山地		8月4日	後志教育研修センター
	 言葉と事実		8月19日	後志教育研修センター
	 情報ノートを作ろう		8月19日	後志教育研修センター
	 新聞を読もう		8月19日	後志教育研修センター
	 水平線		8月19日	後志教育研修センター
	 5月14日		8月19日	後志教育研修センター

# 「もしもなら窓」書評を書こう

## 〜babazon ヲジューリンキング〜

単元の目標⇨これができようになる！

- ◎いろいろな言葉を知り、考えて使うことができる。
- ◎物語の全体をとらえ、人物像や表現について読むことができる。
- ◎文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを書くことができる。
- ◎事実と感想、意見とを区別して書くことができる。

時間	学習内容
1	言葉の意味は？
2	主人公の <del>前</del> の心情は変わった？①
3	主人公の <del>前</del> の心情は変わった？②
4	主人公の <del>前</del> の心情は変わった？③
5	窓に映った物は全部でいくつ？
6	このお話の「窓」＝ あなたなら窓を何が見たい？
7	正しい敬意の表し方はどれ？
8	正しい敬意の表し方はどれ？
9	テスト
10	<del>あなたなら、窓でどのような物を見たい？大発表！</del>
11	読書感想文・ポップ・帯・書評はどれ？
12	書評の書き方のこつ「6つ」がわかるか？
13・14・15	babazon 書評レジュエーを書こう。
16	レジュエーを評価しよう。





## 国語科学習指導案

日時 令和元年11月 5日 〇〇 6校時  
 児童 横浜市立北陽小学校 6年1組  
 男子〇名 女子 〇名 計1〇名  
 指導者 教諭 〇〇 〇〇

### 1. 単元名、教材名

単元名 「登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう」  
 教材名 『母の命』

### 2. 教材について

本教材は自然を舞台に主人公の太一が成長する物語である。尊敬する父を母で亡くした太一は、与吉いさの弟子となり、やがて「村一番の漁師」となる。ある日、太一は父が暮った瀬にやってくる。そこには父を慕った瀬の主がいた。

本教材の主人公は周りの人物の影響を受けながら「村一番の漁師」へと成長する。現実の人間の成長にも、周りの人々の存在が大きく関わっている。「父」「与吉いさ」「母」など、周りの人々と関わる中で、太一がどのような影響を受け、どう成長していくかに気づかせたい。また、太一が考える「本当の一人前の漁師」について瀬の主と出会う前と後での変化を書えたり、「瀬の主」が何を尊敬しているのかを書えたりすることで、太一が慕んだものは何だったのかを確かませ、物語の主題に迫らせたい。そして、太一のような理解や人生の選択をすることが、物語の世界だけでおこることだけではなく、現実生きる自分自身も同じであることに気づき、自己の生き方を見つめ直すきっかけにしていきたい。

### 3. めざす子ども像

(省略)

### 4. 研究主題

#### 【3ブロック研究主題】

未来を生き抜く資質・能力を育む子どもの育成～「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を通して～

#### 【区頭部会研究主題】

学び意欲を高める学習指導の工夫～誰か得意な国語力を培おう～

#### 【北陽小学校研究主題】

互いの思いや考えを適切に伝え合う子どもの育成～国語科を軸として～

## 4 オンデマンドについて

---

6月11日(火)	校内研修
7月 3日(水)	ミドルリーダーによる カリキュラム・マネジメント
8月19日(月)	学校経営Ⅱ(教頭)

◆外部講師による公開講義  
をオンデマンド配信

…都合により参加できなかった場合でも講義が視聴可

## 4 指導案バンク・オンデマンドについて

より多くの先生に  
活用してもらえるように  
改善を進めていく！

## 5. 研究の成果と課題

### 成果

- ・3年次の1年目として、研究について、所員の中で共通理解をすることができた。
- ・情報収集の1年として、アンケートを実施し、現状を把握することができた。
- ・各講座、指導案バンク等、それぞれ滞りなく活動することができた。

### 課題

- ・研修講座やアンケートから先生方が、情報がほしいが、なかなか手に入れる時間がないことがうかがえた。
- ・情報発信をする際に、「誰に向けて」のものなのかを明確にする必要がある。

# 6. 来年度に向けて

3年次研究の2年目

## 「発信」の1年

視点1に関わって

『個別最適な学びと協働的な学び』のイメージを発信！！

視点2に関わって

各校の研修の橋渡しとなるような情報発信！！

発信した内容をまとめ、  
来年度の報告会で発表できるようにしていきたい。

後志管内各校の  
OJTに寄与できる  
研修センターを目指して…

# 令和6年度後志教育研修センター 調査研究事業報告会

学習指導調査研究委員会

ご静聴ありがとうございました。



令和7年1月10日

於：後志教育研修センター